

平成28年度

経営発達支援計画評価委員会報告書

事業所年度にあたり、下記の通りⅠ．経営発達支援事業の内容について6項、Ⅱ．地域経済の活性化に資する取り組みについて1項、Ⅲ．経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組について報告します。

評価基準は

- A：目標を達成することができた。（100%以上）
- B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）
- C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）
- D：目標をほとんど達成することができなかった。（30%未満）

大台町商工会

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	評価内容																																
<p>I. 経営発達支援事業の内容</p> <p>地域の経済動向調査に関すること【指針③】</p> <p>経営発達支援事業を実行するうえで、地域の経済動向を正確に把握することは非常に重要です。これまでは、三重県商工会連合会が実施する中小企業景況調査等の情報を巡回時、広報誌等により小規模事業者への具体的分析と補足説明を伴わない資料としての提供に留まっており、経営動向の確認ツールとして有効に活用されていないことが課題です。</p> <p>そこで、本事業の中で次の4つの経済動向調査を実施し、ホームページや巡回指導で情報提供することにより、小規模事業者等の事業計画の策定に役立てます。</p> <p>【事業内容】</p> <p>1-① ヒアリングシートを活用した小規模事業者への地域経済動向調査</p> <p>大台町独自の地域経済動向調査ヒアリングシートを作成活用し、実施の目的・項目を明確にし、職員間の共有化を図り、大台町管内の経済・景気動向を業種別に正確に把握することを目的とします。</p> <p>大台町の巡回地域を6地区（柘原地区、川添地区、三瀬谷地区1、三瀬谷地区2、宮川地区1、宮川地区2）に分け、毎月ローテーションし、巡回訪問を行います。対象事業所は、製造業・建設業・卸小売業・飲食旅館業・サービス業・その他事業で各5事業所とし、地域も考慮しながら選定し、4半期事（調査期間は4月～6月、7月～9月、10月～12月、1月～3月の計4回実施）に情報を収集し、実施月の翌月末までに情報の集約分析を実施します。</p> <p>【目標】</p> <table border="1" data-bbox="143 995 1086 1110"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヒアリング景気動向調査</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> </tr> </tbody> </table> <p>1-② 金融機関と連携した地域経済動向調査</p> <p>町内の金融機関百五銀行三瀬谷支店、三重信用金庫三瀬谷支店と定期的に意見交換を行い、大台町管内の景気・経済動向を情報共有や、日本政策金融公庫津支店、三重県信用保証協会の担当者とも面談・密に情報共有を行い三重県下の景気・経済動向を収集します。</p> <p>また、株式会社百五総合研究所の発行する三重県経済の動向・景況調査結果、三重県内の信金が連携して発行する三重県しんきんレポート、日本政策金融公庫が発行する全国中小企</p>	項目	H27	H28	H29	H30	H31	ヒアリング景気動向調査	4回	4回	4回	4回	4回	<p>地域の経済動向調査に関すること【指針③】</p> <p>1-① 当初の計画通り、地域経済動向調査を四半期に1回30事業所、全120事業所に対し、ヒアリング調査結果の集約分析まで行いました。</p> <table border="1" data-bbox="1326 995 1632 1110"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4回</td> <td>4回</td> </tr> </tbody> </table> <p>1-② 日本政策金融公庫とのマル経協議会、1日公庫、三重県信用保証協会との意見交換会、百五銀行支店長、三重信用金庫支店長との意見交換、小規模企業振興協</p>	目標	実績	4回	4回	<p>地域の経済動向調査に関すること【指針③】</p> <p>1-①</p> <table border="1" data-bbox="1758 655 2085 812"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>1-②</p> <table border="1" data-bbox="1758 1187 2085 1343"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	○				A	B	C	D	○			
項目	H27	H28	H29	H30	H31																													
ヒアリング景気動向調査	4回	4回	4回	4回	4回																													
目標	実績																																	
4回	4回																																	
A	B	C	D																															
○																																		
A	B	C	D																															
○																																		

業動向調査結果、三重県信用保証協会が発行する保証月報等を活用します。

【目標】

項目	H27	H28	H29	H30	H31
金融機関への景気動向調査	8回	8回	8回	8回	8回

1-③ 小規模企業白書・中小企業白書等の分析による地域経済動向調査

毎年5月に中小企業庁から発表される、中小企業の動向を詳細に調査・分析した小規模企業白書・中小企業白書等を活用し、情報収集を行います。

他にも国・県・各団体等が提供する調査内容等の情報を常に意識し、小規模事業者の経営等に関する調査当地域との関連を見据えながら、①小規模事業者をとりまく経営環境や企業経営について②小規模事業者をそれぞれ産業分野に分けた将来展望③小規模事業者のための行政施策等についての情報を収集し、既存のデータを効率よく活用します。

【目標】

項目	H27	H28	H29	H30	H31
小規模企業白書・中小企業白書等での情報収集	4回	4回	4回	4回	4回

1-④ 大台町地域経済動向調査報告書の作成

経済動向調査により収集した情報は個人情報管理に留意を図りながら、調査結果を集約した『大台町地域経済動向の調査報告書』を3年以内に作成します。

景気動向調査報告書を作成するにあたっては、①～③の地域経済動向調査の結果をもとに、地域経済の全国的な動向、大台町との比較、大台町独自の経済動向等を調査分析します。

作成した『大台町地域経済動向の調査報告書』は、小規模事業者への巡回訪問時の提供や大台町商工会公式ホームページ等により公開・情報発信を行い、大台地域の小規模事業者がリアルタイムに必要な情報取得ができる体制を整備します。

議会での意見交換会を実施し、地域の経済動向の把握や小規模事業者の経営動向について把握を行いました。

目標	実績
8回	8回

1-③

小規模企業白書・中小企業白書の概略について情報提供を行いました。また、その情報を小規模事業者へ説明しやすい情報へ簡略化し提供を行いました。

百五総合研究所と連携して分析データを提供しました。

目標	実績
4回	4回

1-④

『大台町地域経済動向の調査報告書』については、3年以内に作成する予定であり、平成28年度の情報収集分析については実施済みです。①から③の調査結果については大台町商工会ホームページへ掲載しました。

1-③

A	B	C	D
○			

1-④

A	B	C	D
○			

○現状と課題・問題点

1年を通して、四半期ごとに地域経済動向調査を実施し、大台町の景気動向の基礎となるデータを構築できました。実施方法は、計画通り、全職員が巡回訪問の中でヒアリングを行ったが、職員間の役割・担当分担が不明確であったことから、個々で主体性がなくなってしまう、当初の期間内で実施できないこともありました。

金融機関との意見交換会や随時、担当者とも情報交換を行っているが、個々の職員単位であり、職員ミーティングを行っているものの、職員間で情報共有が不完全な現状です。

小規模企業白書・中小企業白書等の情報収集・分析提供を実施することで、事業計画策定のデータの一部としては活用できているが、あくまでも一般のデータであり、大台町の実情と全てが合致していない

○改善方法

地域経済動向調査は巡回時に、経営指導員が中心となり業種・地域のバランスを見ながら、1地区の対象小規模事業所5事業所に対し、担当を割り振り、事前にカルテ等を確認して事前情報を持って効率的に情報を収集します。また、地域経済動向調査ヒアリングシートは内容を更に精査し、より小規模事業者の声を把握して活用できる内容に変更を加えていきます。

金融機関からの情報や小規模企業白書・中小企業白書等の調査結果の集計や専門家の指導を受けながら職員が中心になって、一般的なデータではなく地域特性を含めた分析を行っていきます。本取組が支援能力の向上と情報の共有化にもつながっていくと考えています。

また、継続して大台町商工会公式ホームページやFacebookページ、SHIFT、福まねき通信等の情報発信ツールを活用して効果的に小規模事業者が活用しやすい体制を構築していくことで効果が生まれると考えています。

○事業内容に対する評価や指摘事項

景気動向調査は、小規模事業者が事業計画を作成するうえで非常に重要なツールであると考えられ、小規模事業者向けに行っているヒアリングシートは内容をより具体化して、役立てれる内容に精査し、各種金融機関等との情報交換、小規模企業白書・中小企業白書等の情報収集・分析提供についてもテーマを絞り込み、本当に生きたデータを提供していくことを心がける必要があります。特に職員全員が意識を持って提供、インターネットを活用するなど多角的に発信していくことが必要との意見を受けました。

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	評価内容
<p>2. 経営状況の分析に関すること【指針①】</p> <p>小規模事業者が企業自らの強みを把握し、経営資源、提供する商品・サービス等を把握できるように商工会が支援を実施し、経営発達支援事業を積極的に周知・広告を継続的に行うことにより、経営分析等の潜在的なニーズの掘り起こしとなり、小規模事業者の経営の底上げへの一歩につなげます。</p>	<p>2. 経営状況の分析に関すること【指針①】</p>	<p>2. 経営状況の分析に関すること【指針①】</p>

【事業内容】

2-①経営計画策定セミナー（若手後継者育成セミナー）の開催による経営分析の実施

経営計画策定セミナー（若手後継者育成セミナー）を松阪商工会広域連合等と共同で企画実施します。

本セミナーの中で、自社の棚卸からSWOT分析や3C分析の手法を学んでいただき、自社の経営分析を実施します。

小規模事業者の提供する商品・サービス、保有する技術・ノウハウ、従業員等の経営支援の内容、財務の内容、その他経営状況を集約・分析を行います。

収集した情報をデータベース化し、大台町商工会内で共有、事業計画策定時に活用します。

【目標】

項目	H27	H28	H29	H30	H31
経営計画策定セミナー	1回	1回	2回	2回	2回
経営計画策定セミナー参加者	5人	8人	15人	18人	20人

2-② 記帳継続対象者に対する経営分析

小規模事業者の中でも記帳継続指導対象者は、日々の記帳業務等の中で大台町商工会との接点が非常に多いことから、財務分析・経営分析の重要性を説明し、さらに深い業務内容のヒアリングを行い、財務・経営分析を実施します。

【目標】

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31
記帳対象者経営分析	10件	20件	22件	24件	26件	28件

2-③ 巡回・窓口相談時の経営分析

経営指導員等による日常の巡回及び特定地区の巡回を計画的に進め財務分析・経営分析の重要性を説明し、財務・経営分析を実施します。

重要性の理解を得たうえで、小規模事業者の決算等関係情報等を確認するとともに、業況等のヒアリングした内容を大台町版経営分析シートに落とし込み、経営分析指導を実施し、自社の内部環境分析や経営計画策定に活用します。

2-①

経営計画策定セミナー

1回	8人
----	----

創業セミナー

1回	2人
2回	2人
3回	3人
4回	1人
延べ	8人

目標	実績
1回	5回
8人	16人

2-②

記帳指導対象者の中でも、貸借対照表を把握している小規模事業者に対して、弥生会計の財務分析機能を活用して、分析結果等の情報を提供しました。

目標	実績
22件	36件

2-③

巡回経営分析	10件
小規模持続化補助金	33件
経営向上計画	16件
経営力向上計画	2件
ものづくり補助金	1件

2-①

A	B	C	D
○			

2-②

A	B	C	D
○			

2-③

A	B	C	D
○			

【目標】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>巡回・窓口経営分析</td> <td>7件</td> <td>10件</td> <td>12件</td> <td>14件</td> <td>16件</td> <td>18件</td> </tr> </tbody> </table>							項 目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	巡回・窓口経営分析	7件	10件	12件	14件	16件	18件	※重複事業所あり <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12 件</td> <td>62 件</td> </tr> </tbody> </table>		目標	実績	12 件	62 件	
項 目	H26	H27	H28	H29	H30	H31																					
巡回・窓口経営分析	7件	10件	12件	14件	16件	18件																					
目標	実績																										
12 件	62 件																										
2-④ 金融相談における経営分析 マル経融資（小規模事業者経営改善資金融資制度）推薦事業所について、個別案件毎に経営分析を実施し、今後の円滑な事業展開のための助言を行います。また、それ以外の金融相談でも、原則として経営分析を行い、事業所の経営課題の抽出に努めます。							2-④ マル経融資 30 件 マル普融資 7 件 小規模事業資金 2 件		2-④ <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	○													
A	B	C	D																								
○																											
【目標】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>金融相談における経営分析</td> <td>28件</td> <td>30件</td> <td>30件</td> <td>30件</td> <td>30件</td> <td>30件</td> </tr> </tbody> </table>							項 目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	金融相談における経営分析	28件	30件	30件	30件	30件	30件	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30 件</td> <td>39 件</td> </tr> </tbody> </table>		目標	実績	30 件	39 件	
項 目	H26	H27	H28	H29	H30	H31																					
金融相談における経営分析	28件	30件	30件	30件	30件	30件																					
目標	実績																										
30 件	39 件																										
○現状と課題・問題点 経営計画作成セミナー・創業セミナーは、職員も同席し資質の向上につなげました。創業セミナーは、松阪広域管内から多くの参加があったが、タイミングもあり大台町管内からは、参加が非常に少なく周知不足であった点もあげられます。特定創業者のメリット等と創業予定者に向けた周知方法について検討していく必要があります。 また、記帳、巡回・窓口相談、金融相談における経営分析については、補助金・経営向上計画の作成も絡めて多くの実績をあげることが出来ました。経営指導員・記帳職員が連携して、更に踏み込んだ財務分析結果を踏まえた上での、経営支援に役立てるようにスキルアップしていく必要性があります。																											
○改善方法 経営計画作成セミナー・創業セミナーには、経営指導員だけでなく、補助対象職員を中心として積極的にセミナーに同席して資質向上に努めます。また、定期巡回や地域経済動向調査の際に、職員全員が積極的にセミナー等の情報を提供することで、小規模事業者の意識付けを行い、効果的に情報を伝えて参加者の増加に取り組みます。 また、事業所と伴走して数字をよく知る記帳関係職員と経営指導員との連携を強化し、より高度な分析を行う為にチームとなって推進をしていきます。																											
○事業内容に対する評価や指摘事項 経営計画作成については、非常に多くの支援件数があり、小規模事業者向けのセミナーについても職員が同席し、資質の向上に努めているのは評価できます。しかし、経営分析については、数値・資金繰り等の案件についてはあくまでも分析にとどまり、その先の経営支援という部分では非常に弱い部分もあることから更に踏み込んだ支援を行って行ってください。																											

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	評価内容																																																										
<p>3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】</p> <p>小規模事業者からの事業計画作成支援ニーズは増加傾向にあり、今後の、小規模事業者の持続的発展に向けて、重点支援ポイントであり、小規模事業者が経営課題を解決していくため、やる気のある小規模事業者の掘り起し・経営の底上げを重点的に取組みます。</p> <p>【事業内容】</p> <p>3-① 巡回による重点支援先の選定と事業計画策定指導の徹底</p> <p>経営分析支援先へ継続し、巡回相談時に経営計画策定の必要性・重要性の周知を実施します。その中の小規模事業者で、重点支援先をフォローアップ会議の中で年間10事業者を選定し、外部専門家・各種関係機関も連携した濃密な伴走型支援を実施します。</p> <p>また、経営計画の策定のツールとして三重県版経営向上計画の申請様式を活用し、さらに新規性のある取り組みには経営革新計画の申請を行うようにアドバイスをを行います。これらの施策についても説明周知を実施していきます。</p> <p>※重点支援先は希望がある場合は上限を設けません。</p> <p>【目標】</p> <table border="1" data-bbox="143 805 1243 1129"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>巡回・窓口指導数</td> <td>2,618件</td> <td>2,600件</td> <td>2,600件</td> <td>2,600件</td> <td>2,600件</td> <td>2,600件</td> </tr> <tr> <td>事業計画書策定</td> <td>7件</td> <td>10件</td> <td>12件</td> <td>14件</td> <td>16件</td> <td>18件</td> </tr> <tr> <td>経営革新・三重県版経営向上計画</td> <td>6件</td> <td>8件</td> <td>10件</td> <td>12件</td> <td>14件</td> <td>16件</td> </tr> <tr> <td>経営計画策定周知</td> <td>0回</td> <td>6回</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>12回</td> </tr> </tbody> </table>	項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	巡回・窓口指導数	2,618件	2,600件	2,600件	2,600件	2,600件	2,600件	事業計画書策定	7件	10件	12件	14件	16件	18件	経営革新・三重県版経営向上計画	6件	8件	10件	12件	14件	16件	経営計画策定周知	0回	6回	12回	12回	12回	12回	<p>3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】</p> <p>3-① 巡回指導については、小規模事業者の求めるサービス等もくみ取りながら指導に取り組んできました。事業計画の策定、三重県版経営向上計画の策定については積極的な周知と策定支援を行ってきました。</p> <table border="1" data-bbox="1326 805 1662 1161"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指導件数</td> <td>2,600件</td> <td>3,490件</td> </tr> <tr> <td>計画策定</td> <td>12件</td> <td>40件</td> </tr> <tr> <td>革新向上</td> <td>10件</td> <td>19件</td> </tr> <tr> <td>向上周知</td> <td>12回</td> <td>12回以上</td> </tr> </tbody> </table>		目標	実績	指導件数	2,600件	3,490件	計画策定	12件	40件	革新向上	10件	19件	向上周知	12回	12回以上	<p>3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】</p> <p>3-①</p> <table border="1" data-bbox="1758 507 2085 662"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	○			
項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31																																																						
巡回・窓口指導数	2,618件	2,600件	2,600件	2,600件	2,600件	2,600件																																																						
事業計画書策定	7件	10件	12件	14件	16件	18件																																																						
経営革新・三重県版経営向上計画	6件	8件	10件	12件	14件	16件																																																						
経営計画策定周知	0回	6回	12回	12回	12回	12回																																																						
	目標	実績																																																										
指導件数	2,600件	3,490件																																																										
計画策定	12件	40件																																																										
革新向上	10件	19件																																																										
向上周知	12回	12回以上																																																										
A	B	C	D																																																									
○																																																												
<p>3-②創業（予定者）・第2創業・事業承継に伴う事業計画策定指導</p> <p>少子高齢化・過疎化が進む大台町において、新規創業者支援を実施することは新産業の創出・雇用の拡大等、そして地域の活性化につながることから非常に重要な支援です。</p> <p>創業者（創業予定者）のリストアップを行い、創業事業計画策定から、大台町商工会、外</p>	<p>3-② 事業承継、創業者に向けて巡回指導等を行い、現状の把握から各種支援まで継続的に支援を行ってきました。</p>	<p>3-②</p> <table border="1" data-bbox="1758 1225 2085 1380"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	○																																																					
A	B	C	D																																																									
○																																																												

部専門家、各種関係機関とも連携し、全面的なバックアップ行います。

対象者は開業3年以内、第2創業、事業承継後2年以内等の小規模事業者優先順位をつけて選定し、1ヵ月に1回以上巡回訪問を実施します。

【目標】

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31
事業承継	2件	2件	3件	3件	4件	4件
創業	1件	1件	2件	2件	3件	3件

3-③事業計画策定セミナー、個別相談会の開催

事業計画策定についての事業計画策定セミナー、個別相談会を松阪商工会広域連合や三重県商工会連合会との共催で実施します。

個別相談会は事業計画策定セミナーのフォローアップとして開催し、事業計画を完成させ、また、実施後の計画の見直しについても支援します。

3-④国・県の施策普及セミナーの開催

国や県の施策が発表された際に、説明会や講習会を松阪商工会広域連合との共催で実施し、施策の普及を行うと共に経営計画の策定方法についても支援します。

	目標	実績
事業承継	3件	3件
創業	2件	3件

3-③ 3-④

事業計画策定セミナーでは、青年部員を中心として、三重版経営向上計画作成と需要動向調査を活用した事業計画作成のセミナーを実施しました。また、松阪商工会広域連合と連携して創業セミナーを実施し、その後、巡回指導により現状の把握と各種補助金申請等について継続的に支援を実施しました。

経営計画策定セミナー

2回	18人
----	-----

創業セミナー

1回	2人
2回	2人
3回	3人
4回	1人
延べ	8人

3-③

A	B	C	D
○			

3-④

A	B	C	D
○			

○現状と課題・問題点

毎月の会報等による巡回指導（配布を除く）を継続し、伴走型支援に取り組んでおり、巡回・窓口指導件数 3,490 件と高い数字を示しています。ピンポイントでの指導や会報配布が目的になっており、経営計画策定の必要性・重要性については幅広く伝えきれていないのが現状です。また、金融・労働などの基礎的支援で留まっている事業所も多く、指導内容については個々の職員で認識が異なることから、指導についての質の向上を図っていく必要があります。

その反面、三重県版経営向上計画、小規模持続化補助金等の支援ツールの充実により、多くの事業計画作成支援を実施しています。

○改善方法

今後の方向性として、巡回指導回数の増加ではなく、指導内容の質の向上に取り組んでいく必要があります。そこで、経営支援会議等により、経営支援についての意識共有を行い、各種指導時に経営計画策定の必要性・重要性の周知徹底と三重県版経営向上計画の制度の説明を行い、事業計画作成支援ニーズをとらえて巡回指導の強化を行うことで、更なる事業計画作成支援を実施していきます。巡回の資質向上により、経営指導員だけでなく、補助対象職員全員が事業計画作成支援をすることで商工会価値を高めていきます。

○事業内容に対する評価や指摘事項

経営計画と同様に事業計画作成についても非常に多くの支援を行い、窓口・巡回指導・補助金申請等についても高い数値を示しているため評価は出来ますが、事業計画を作成しても、売上げにつながらなければ意味がないことから、売上げまで全て把握して効果を検証する必要があり、近隣で実施している商工会があるので手法等については聞いてみてはいかがでしょうか。経営指導員だけでなく、大台町商工会職員全員が、事業計画策定の必要性を理解し、巡回時に情報提供と作成支援を行うことで、更なる経営支援の充実を図っていく必要があります。

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	評価内容				
<p>4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】</p> <p>事業計画策定支援を行ってきましたが、事業計画に沿って、計画的な進捗状況管理が出来ておらず、基本的には小規模事業者まかせで、確認方法は口頭でのヒアリングに留まっており、正確な事業計画の進捗・実績がつかめていませんでした。</p> <p>事業計画策定後は、進捗状況シートを作成し、毎月 1 回、経営指導員を中心として巡回訪問し、事業の進捗状況の把握（数値的管理、進捗スケジュール管理）の徹底と新たな課題抽出等を行い、支援を実施していきます。</p> <p>【事業内容】</p> <p>4-① 経営指導員を中心とした巡回とフォローアップ会議の実施</p> <p>小規模事業者の事業計画の進捗が芳しくない場合は、新たな問題が生じているとの推定のもと、直ちに巡回指導を実施します。経営課題を把握するとともに、大台町商工会内でフォロ</p>	<p>4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】</p> <p>4-①</p> <p>経営支援会議を実施し、個々のスケジュールと業務内容につ</p>	<p>4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】</p> <p>4-①</p> <table border="1" data-bbox="1758 1300 2083 1364"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table>	A	B	C	D
A	B	C	D			

ーアップ会議を実施し、その解消に向けた適切な指導・助言を行います。
 フォローアップ会議は毎月第1月曜日の事務所ミーティング内で実施し、議事録を作成し情報を記録共有します。

4-② 専門家派遣実施によるフォローアップ

経営指導員による伴走型支援、フォローアップ会議でも、解消が困難な課題の場合は、中小機構、三重県商工会連合会、三重県産業支援センター、ミラサポ専門家派遣等を活用し、小規模事業者の課題解決に取り組みます。

4-③ 創業、第2創業、事業承継後のフォローアップ

小規模事業者の創業後3年以内の廃業率は70%と言われる中で、大台町商工会では創業、第2創業、事業承継を実現した小規模事業者に対して、重点的にフォローアップ巡回を行います。月1回以上は巡回し、業況をヒアリングし、売上・粗利・利益等をチェックし、事業計画と事業実績の分析と新たな課題の抽出を行います。

※原則として2か月に1回以上、巡回指導及び、その他の方法により、進捗状況を把握して、フォローアップカルテに記録します。

【目標】

項目	H27	H28	H29	H30	H31
フォローアップ支援	100回	230回	350回	410回	470回

いて意見交換を行っており、職員間で指導内容や情報交換を実施して指導につなげています。

4-②

職員だけで課題解決が困難な場合は、専門家を招へいして課題解決に取り組んでいます。

- (活用した専門家派遣制度)
- 伴走型支援 35回
- 県単 18回
- 消費税軽減税率対策 6回
- スーパーバイザー 6回
- 三重県版経営向上計画 4回

4-③

創業3年以内、事業承継した小規模事業者には1ヶ月に1回以上は巡回もしくは連絡を密にとってフォローアップ指導を実施しています。

4-①②③

目標	実績
230回	1,075回

○			
---	--	--	--

4-②

A	B	C	D
○			

4-③

A	B	C	D
○			

○現状と課題・問題点
 事業計画策定後や創業、事業承継後のフォローアップについては、巡回訪問数を増やして伴走型で取り組んできました。その中で、解決できない課題につ

て専門家派遣等も含めて、継続的に実施してきたが、進捗管理等は実施できていたが、数値的な部分は事業所の感覚的な部分に留まり、正確に把握できていないのが現状です。

○改善方法

計画にもある、進捗状況シートを作成し、事業の進捗状況の把握（数値的管理、進捗スケジュール管理）の徹底と新たな課題抽出等を行い、支援を行います。支援内容についてはフォローアップカルテに記録して職員間での情報共有を実施します。

○事業内容に対する評価や指摘事項

事業計画作成後のフォローアップについては、徹底した事後支援によって行っており一定の効果がみられます。専門家派遣制度も活用して小規模事業者のニーズに基づいた支援に取り組んでいます。ただし、事業計画策定も同様ですが、明確な数値的な検証や新商品開発などを行って売上が上がりましたなど効果が見えないことには意味がない。支援した小規模事業者をピックアップして売上げの状況を把握していく必要性があります。

また、事業計画の検証とともに、商工会職員全員が事業計画作成支援を行って、小規模事業者の売上げが増加したという実績を有し、大台町商工会に支援を受ければ必ず商売役立つというイメージを与えることも重要です。

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	評価内容								
<p>5. 需要動向調査に関すること【指針③】</p> <p>大台町管内・三重県内・全国等エリア事に需要動向調査データを調査・蓄積するとともに、事業計画策定者の商品・サービス等を念頭にターゲットの最新の需要動向を経営指導員等や専門家が調査し、小規模事業者に提供することで、新たな需要の開拓につなげます。またこうしたデータを商工会内で共有・蓄積・公開することで、小規模事業者の経営計画策定にも役立たせます。</p> <p>【事業内容】</p> <p>5-① ヒアリングシートを活用した小規模事業者への需要動向調査</p> <p>大台町管内の小規模事業者を対象に、大台町独自の需要動向ヒアリングシートを作成し、ターゲット別消費者動向や業種別の需要動向の調査を行い、大台町管内における需要動向を収集します。</p> <p>大台町の巡回地域を6地区（柘原地区、川添地区、三瀬谷地区①、三瀬谷地区②、宮川地区①、宮川地区②）に分けて毎月ローテーションをし、巡回訪問を行います。対象事業所は、製造業・建設業・卸小売業・飲食旅館業・サービス業・その他事業で各5事業所とし、地域も考慮しながら選定し、4半期事（調査期間は4月～6月、7月～9月、10月～12月、1月～3</p>	<p>5. 需要動向調査に関すること【指針③】</p> <p>5-①</p> <p>地域経済動向調査と合わせて需要動向調査を実施しました。ヒアリングシートは設けず、会話の中で情報収集を勤めて、個々の事業者の基本データとしての把握に努めました。</p>	<p>5. 需要動向調査に関すること【指針③】</p> <p>5-①</p> <table border="1" data-bbox="1758 1109 2083 1268"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>	A	B	C	D			○	
A	B	C	D							
		○								

月の計4回実施)に情報を収集し、実施月の翌月末までに情報の集約分析します。

【目標】

項目	H27	H28	H29	H30	H31
ヒアリング需要動向調査	4回	4回	4回	4回	4回

5-② 重点支援先の需要動向調査

重点支援先としてピックアップした小規模事業者に対し、ヒアリング・インターネットや専門誌、業界別動向誌により需要動向調査を行い、集約した情報を分析します。

分析した需要動向結果を巡回指導時に小規模事業者に提供し、商品・サービス等のブラッシュアップや価格設定、販売促進に活用し、個社へ重点的に伴走型支援を実施します。

【目標】

項目	H27	H28	H29	H30	H31
重点支援先の需要動向調査	随時	随時	随時	随時	随時

5-③ 他団体等との連携による需要動向調査

専門家や地域金融機関と情報を共有して、各商品・サービスの取引動向の調査・分析を行い、新商品・サービス開発や販路開拓等の事業計画策定に活用します。

【目標】

項目	H27	H28	H29	H30	H31
他団体等による需要動向調査	4回	4回	4回	4回	4回

5-②

重点支援先については、小規模事業者持続化補助金、三重県版経営向上計画等の作成の際に、事業所を抽出し、需要動向調査を実施しました。

目標	実績
随時 ※5件	59件

5-③

各種専門家、金融機関等と随時情報交換を実施して情報収集に努めました。

目標	実績
4回	随時

5-②

A	B	C	D
○			

5-③

A	B	C	D
	○		

5-④ 各種団体の公表する需要動向調査

商品やサービスに応じて、国や中小企業整備基盤機構、業界団体が公表する需要動向調査、インターネット閲覧可能な市場調査会社の成長市場予測を活用し、需要動向や成長・衰退市場を調査します。

【目標】

項目	H27	H28	H29	H30	H31
各種団体の公表する需要動向調査	4回	4回	4回	4回	4回

5-⑤ 日常生活での需要動向調査

商工会職員が日ごろから意識を持って、日常生活や出張、旅行で訪問する大手企業FC店や大型店、繁盛飲食店等の店舗、商品、陳列、訴求POP、パンフレット、サービス、客層等の情報を日々収集し、可能な際は写真撮影して需要動向やトレンドを把握し小規模事業者に提供します。

【目標】

項目	H27	H28	H29	H30	H31
日常生活での需要動向調査	随時	随時	随時	随時	随時

5-④

各種好評情報を収集し、随時情報交換を実施して情報収集に努めました。

目標	実績
4回	随時

5-⑤

各種展示会や店舗等で常に意識を持って、レイアウト、デザイン、価格設定等の情報収集に努めました。

目標	実績
随時	随時

5-④

A	B	C	D
	○		

5-⑤

A	B	C	D
		○	

○現状と課題・問題点

重点支援先における需要動向調査については事業計画策定・各種補助金の獲得に向けて、当初使用していたヒアリングシートを活用せず実施しました。重点支援先における調査結果は、事業者が特定される恐れがある為に、個々の事業者への提供に留まっており、各種インターネットツール等での情報提供は実施しておりません。大台町民200名に向けた買い物動向調査については、ヒアリングにこだわって実施し、業種ごとの非常に制度の高いデータを収集することが出来、事業計画の作成に活用しました。

○改善方法

重点支援先における需要動向調査については事業計画策定・各種補助金申請時に大台町の地域背景を踏まえた上での正確な情報収集に取り組み提供しました。また、大台町住民への買い物動向調査では、非常に精度の高いデータを収集し、平成29年度以降も各種事業計画の作成に活用していきます。

○事業内容に対する評価や指摘事項

需要動向調査については、大台町民に対して行ったヒアリング買い物動向調査は業種・地域ごとに詳細なデータとなっており、事業計画を作成する際の質の高いデータとなることから、更に活用を推進していただきます。ただし、小規模事業者には、どのように見て・活用して良いか分からないことから、商工会職員が噛み砕いて説明し、セミナーや個別支援の中で活用方法について積極的な支援を実施していただきます。

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	評価内容																																													
<p>6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】</p> <p>大台町内の小規模事業者の取扱い商品・サービス・取引先など詳細を把握し、新たな需要の開拓の為に、事業内容・商品やサービス等の強みなどを棚卸し、データベース化し、大台町商工会の職員が共有できる体制を構築します。</p> <p>大台町商工会が巡回・訪問時に、地域経済動向や需要動向の分析結果を踏まえて、それぞれの小規模事業者に合致した販路開拓方法を伴走型で助言・提案し、実施していきます。</p> <p>【事業内容】</p> <p>6-① 販路開拓・ブランディングセミナー・情報発信セミナーの開催</p> <p>需要動向調査結果を踏まえた上での、販路開拓・商品のブラッシュアップ、ブランディング・販売促進、情報発信セミナー等を実施することにより、もう一度自社の商品・サービス等の棚卸と販売計画を精査し、新たな販路開拓につなげていきます。</p> <p>ターゲット・業種等によって、アプローチ方法はまったく違ってくることから、業種ごとに絞ったセミナー内容を検討します。</p> <p>(例) 卸小売業・製造業・建築業・サービス業・飲食業 他</p> <p>6-② 展示会・物産展・イベント等への出店による販路開拓支援</p> <p>大台町は特産品・工芸品・経営資源等に恵まれおり、町外・県外等へ積極的に販路を開拓していく小規模事業者に対して展示会・物産展・イベント等への出店支援を実施します。また、展示会に向けて、小規模事業者に対して、商品・サービスのブラッシュアップ・商談の進め方・プレゼンテーション力の向上やパンフレット・チラシ等の販売促進ツール等について、専門家も交えて総合的に支援を行っていきます。</p> <p>【目標】</p> <table border="1" data-bbox="145 1109 1211 1300"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示会・商談会への参加</td> <td>1回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>上記の商談件数</td> <td>5件</td> <td>15件</td> <td>20件</td> <td>40件</td> <td>45件</td> <td>70件</td> </tr> </tbody> </table>	内 容	H26	H27	H28	H29	H30	H31	展示会・商談会への参加	1回	2回	2回	3回	3回	4回	上記の商談件数	5件	15件	20件	40件	45件	70件	<p>6-①</p> <table border="1" data-bbox="1328 582 1478 699"> <thead> <tr> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3回</td> </tr> </tbody> </table> <p>情報発信に使える！小物を撮るテクニック もう一歩踏み込んだ情報発信セミナー ふるさと納税活用 販路開拓セミナー (参考) その他集団セミナー 7回 個別相談会 3回 広域セミナー 5回</p> <p>6-②</p> <p>斎王まつり 2事業所 ええじゃんかまつり 1事業所 広域ビジネスマッチング 1事業所 千客万来夏まつり 5事業所 どんとこい大台まつり 3事業所 イオンモール明和 5事業者 大治町×大台町ザ・秋の物産展 2事業者 地球に優しい三重の物産フェア 1事業者 グルメ&ダイニングスタイルショー 2事業者 めいわいつきの宮市 2事業所 木づくり事業 3事業所 むらからまちから館 1事業所 あざふるさと 2事業所※重複あり</p> <table border="1" data-bbox="1328 1204 1630 1353"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2回</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>20件</td> <td>28件</td> </tr> </tbody> </table>	実績	3回	目標	実績	2回	12回	20件	28件	<p>6-①</p> <table border="1" data-bbox="1760 582 2085 737"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>6-②</p> <table border="1" data-bbox="1760 925 2085 1080"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	○				A	B	C	D	○			
内 容	H26	H27	H28	H29	H30	H31																																									
展示会・商談会への参加	1回	2回	2回	3回	3回	4回																																									
上記の商談件数	5件	15件	20件	40件	45件	70件																																									
実績																																															
3回																																															
目標	実績																																														
2回	12回																																														
20件	28件																																														
A	B	C	D																																												
○																																															
A	B	C	D																																												
○																																															

6-③ マスコミ等（プレスリリース）の活用支援

特に特徴を持った企業（商品・サービス・技術・社員・取り組み等）であれば、マスメディアといった多くの情報経路を通じて告知することで、より多くの企業からの問合せ、注文、取引開始がもたらされることが多くあります。

大台町商工会がノウハウを有し、事業所の特徴をプレスリリースとして配信することで、記事や番組に取り上げられる確率が向上し、配信数を増やし、掲載実績を増やしていきます。

【目標】

内 容	H26	H27	H28	H29	H30	H31
プレスリリースの実施	0件	2件	3件	4件	5件	6件

6-④ 松阪商工会広域連合と連携したビジネス交流会等販路開拓支援

松阪商工会広域連合の実施する農商工連携ファンド支援体事業において、農林水産漁業者と商工業者が連携し、お互いの経営資源を生かした事業展開を実施する。

そこで交流会等を実施することによりビジネスマッチング、各種セミナー、テストマーケティング、ネット販売、展示会等を実施して販路開拓を図り、随時、国・県が行う商品開発や販路開拓等の施策情報を発信します。

6-⑤ ITを活用した販路開拓支援

インターネットの普及により、いかに上手に町内外に発信していくかが必要不可欠です。小規模事業者の取り組み内容（新商品、新サービス等の開発や新たな取組）を大台町商工会公式ホームページ、大台町商工会公式 f a c e b o o k ページ、SH I F T 等から情報発信を行える仕組みを構築します。

【目標】

内 容	H27	H28	H29	H30	H31
SHIFT 登録	2件	3件	4件	5件	6件
Facebook ページ登録	2件	3件	4件	5件	6件
商工会報福まねき通信発行	12回	12回	12回	12回	12回

6-③

大台町商工会のプレスリリースに努め、14 事業について掲載につながっています。今期は 1 件という結果でした。

目標	実績
3 件	1 件

6-④

内容	参加者
サバーブ松阪全 5 回	延 5 名
地域の再構築を目指して	9 名

6-⑤

	目標	実績
SHIFT	3 件	27 件
FB	3 件	4 件
大台帳	—	25 件
ブログ	—	1 件
福まねき通信	12 回	12 回

6-③

A	B	C	D
		○	

6-④

A	B	C	D
	○		

6-⑤

A	B	C	D
○			

<p>6-⑥ 事業戦略に対応した個別販路開拓の推進</p> <p>事業計画を策定した小規模事業者に対し、徹底した伴走型の販路開拓支援を行います。事業計画の販売戦略、特に成長ベクトルから、各小規模事業者の販売戦略、①市場浸透戦略②新製品開発戦略③新市場開拓戦略④多角化戦略のどの戦略を実施していくかを、経営指導員等が蓄積されたデータベースから判断し、新たな需要の開拓や商品・事業のPR等、小規模事業者にあった販路開拓支援を行います。</p>	<p>6-⑥ 個別の事業戦略に基づく、販路開拓支援を実施してきました。</p>	<p>6-⑥</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	A	B	C	D		○		
A	B	C	D							
	○									
<p>○現状と課題・問題点</p> <p>事業計画作成後の新たな需要開拓に向けて、伴走型支援事業やその他事業を活用しながら、情報発信や販路開拓に関するセミナーを継続的に実施し、多くの小規模事業者に参加いただきました。今回は各販売促進の切り口的な部分であり、具体的な実施方法を検討していく必要があります。</p> <p>展示会・物産展・イベント等への出店については、年間を通して多くの事業所様に参加していただき、商談・受注など一定の効果がありました。ただし、食に関するものが中心で偏ってしまっています。また、内需向けの支援については大台帳情報提供サービスの提供を開始したが、周知等が行き届いておらず、今後の周知徹底が課題となっています。</p> <p>ITを活用した販路開拓支援については、SHIFTやFacebookページなど、多くのページ作成支援を行ってきましたが、その後の、更新やSEO対策には取り組めていない小規模事業者が多く、継続的な支援を行っていきます。</p> <p>○改善方法</p> <p>情報発信については、ホームページの作成運用や商材写真を自分で撮影するなど更に踏み込んだ内容で検討します。また、県外に販路を求めている事業者に対して各種・展示会等への出展（店）する機会を設けます。</p> <p>またブロガーによる情報発信の強化と、内需向けサービス大台帳のPRによる集客についても取り組みます。</p> <p>業種を絞った販路開拓・ブランディングセミナー・情報発信セミナーを開催し、個々の事業所の需要開拓に沿った、各種展示会やプレスリリース、ITを活用した情報発信等の販路開拓支援を実施していく必要があります。各展示会・物産展・イベント等への出店については、非食品など多くの小規模事業者が販路開拓に取り組める環境を整備します。</p> <p>種の切り口から「6-⑥事業戦略に対応した個別販路開拓の推進」にもあるように、最終的には個社支援を強化していくことが必要であると考えています。</p>										
<p>○事業内容に対する評価や指摘事項</p> <p>大台ブロガーミートの中で、ブロガーによる情報発信やブロガーサミットなど、他地域では実施していない革新的な事業も行っており、各種情報発信支援や展示会等についても伴走支援を実施しています。情報発信サイト大台帳なども、短期的な取り組みとせず、継続的にPRしていれば効果をうむことが出来るツールであると考えられるので、継続的に行っていくてください。展示会等については、各種展示商談会・イベント等ありますが、ロット数・価格設定など、小規模事業所の実情を見た上での出展者選定と出店前後の支援など徹底した支援を行っていくことが重要になってくると思います。</p> <p>どれだけ良い事業計画を作成・商品開発などを行っても、販路が見つからなければ意味がありませんので、大台町商工会としても内需・外需も含めた出口支援について積極的に進めていってください。</p>										

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	評価内容																																
<p>1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること</p> <p>大台町商工会は、三重県商工会連合会、松阪商工会広域連合と連携し、小規模事業者等の支援・地域の課題を解決することを念頭に支援を実施してきましたが、小規模事業者の高度化・多様化する支援ニーズへのスピーディーな対応が課題となっています。</p> <p>1-①よろず支援拠点コーディネーター、地域インストラクターとの連携</p> <p>三重県産業支援センターに設置されているよろず支援拠点のコーディネーターとの連携を密にし、課題解決が必要な事業者への定期的な巡回を実施します。また、必要に応じて大台町商工会で個別相談会を実施し、効率的な大台町管内の小規模事業者支援に取り組みます。</p> <p>また、「三重県中小企業・小規模企業振興条例」に基づく三重県版経営向上計画取り組み促進のために設置された地域インストラクターなどの支援機関と経営指導員が共に小規模業者の支援にあたることで経営指導員の支援能力向上につなげていきます。</p> <p>1-②経営指導員等ネットワーク会議</p> <p>三重県産業支援センターのよろず支援拠点のコーディネーター及び経営向上計画支援の地域インストラクター、県下商工会・商工会議所の経営指導員、三重県の商工担当者による支援事例発表や分科会での事例研究、情報交換を行い、支援力向上を図ります。</p> <p>1-③ 松阪商工会広域連合管内経営発達支援事業連携</p> <p>松阪商工会広域連合管内で、経営発達支援事業に関わる商工会の新たな連絡協議会を設立します。年3回の会議を予定しており、各商工会の事業の進捗状況や各種調査内容の共有、支援事例等の報告、意見交換等を実施します。</p> <p>1-④その他団体・金融機関等との連携</p> <p>松阪税務署・松阪税理士会との三者懇談会や日本政策金融公庫と中勢地域の商工会とで実施するマル経協議会、民間金融機関との経営金融支援会議等の連携の他、三重県産業支援センター、中小企業基盤整備機構、各種専門家と連携を強化し、小規模事業者への支援事例や現況を踏まえた支援方策、活用ツール、支援ノウハウについての情報を得ることで小規模事業者への各方面からの支援に役立てます。</p>	<p>1-① 三重県版経営向上計画については、地域インストラクターと連携して実施しました。</p> <p>1-② 平成28年度は1回開催され不参加</p> <p>1-③ 4月26日 経営発達支援会議 7月28日 経営発達支援会議 12月7日 経営発達支援会議 3月28日 経営発達支援会議</p> <p>1-④ 5月 松阪税務連絡協議会 松阪地域雇用対策協議会 6月 マル経協議会 7月 1日公庫 9月 松阪税務連絡協議会 10月 マル経協議会 11月 1日公庫 ※各種団体等との連携を1年通じて実施しました。</p>	<p>1-①</p> <table border="1" data-bbox="1720 469 2087 624"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>1-②</p> <table border="1" data-bbox="1720 738 2087 893"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> </table> <p>1-③</p> <table border="1" data-bbox="1720 968 2087 1123"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>1-④</p> <table border="1" data-bbox="1720 1198 2087 1353"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	A	B	C	D		○			A	B	C	D				○	A	B	C	D	○				A	B	C	D	○			
A	B	C	D																															
	○																																	
A	B	C	D																															
			○																															
A	B	C	D																															
○																																		
A	B	C	D																															
○																																		

<p>○現状と課題・問題点 松阪商工会広域連合、近隣商工会、金融機関等との連携はスムーズに行うことが出来たが、三重県産業支援センター、よろず支援拠点、ミラサポ等については情報交換程度にとどまっており、小規模事業者支援に対する連携としては不十分であったと感じられ、今後、多様化・高度化していく支援ニーズに対応していく為には協力は必須であると考えています。</p> <p>○改善方法 三重県産業支援センター、よろず支援拠点、ミラサポ等も含めた連携体制について、個々の役割の棚卸を行い、得意分野を見極めて、積極的に連携を図って小規模事業者の伴走型支援につなげていきます。</p> <p>○事業内容に対する評価や指摘事項 松阪商工会広域連合や行政等の機関とは、情報共有・事業連携を密に行っており、今後も継続的に行って行ってください。また、各種支援機関は適材適所があり、連携して支援が行っていけば高い効果が見込めることから、個々の機関と連絡をとって事業実施内容の棚卸を行い連携を推進していくように心がけてください。</p>										
経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	評価内容								
<p>2. 経営指導員等の資質向上等に関すること 経営発達支援計画を実施していくにあたり、現在の事務局体制で効率的な研修プログラムを作成し、職員全体が資質向上を図ることが必要不可欠です。 そこで、毎年4月末日に事務局長と職員全員が面談を行い、職員が身に付けたいスキル・客観的に足りないスキルを把握し、その結果をもとに、5月20日までに事務局長が資質向上プログラムを作成し、職員に周知し、下記の資質向上に取り組みます。</p> <p>(事業内容) 2-① 各種関係セミナーへの積極的な参加 三重県、三重県商工会連合会、松阪商工会広域連合の開催が主催するセミナーへの参加に加え、経済産業局や中小機構が開催するセミナー等に経営指導員だけでなく、職種ごとに関係する内容を精査し、全職員が年1回以上参加することで、支援能力の向上を図ります。 また、大台町商工会の開催する独自セミナーにおいても、担当職員だけでなく関係職員も積極的に参加し、知識の習得を図ります。研修内容の共有化については、各職員が参加した研修資料を回覧します。</p>	<p>2-① 各種セミナーに対して積極的に参加し、復命書・資料回覧により、情報の共有と知識の習得に取り組みました。</p>	<p>2-①</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	A	B	C	D	○			
A	B	C	D							
○										

2-② 経営指導員等Web研修

商工会職員に小規模事業者から求められるニーズは幅広く、経営指導員等Web研修を、大台町商工会の全職員が受講し、基礎知識等の向上を図ります。

2-③ 職員ミーティングによる職員同士の情報共有

毎日就業時間に職員ミーティングを実施しており、業務の進捗状況やスケジュールの共有等を実施しています。

更に、個々のレベルアップを図る為に、毎月最終金曜日の職員ミーティング時に各職員が司会進行者となり研修・セミナー等の内容、又は自身の巡回時の指導事例、小規模事業者より相談されたがどのように対応したら良いか討議など、各テーマを設けて全員で情報の共有をする機会を設けます。

2-④ チーム大台町商工会での巡回による資質の向上

事務局長・経営指導員と補助員・記帳専任職員とが連携し、同席・同行し、1つの案件にチームとして小規模事業者を支援することで、指導・アドバイスの内容、情報の収集・提供などの支援方法を学ぶなど、内部育成を行うことにより、小規模事業者への伴走型の支援能力の向上を図ります。

2-⑤ 中小診断士職員による職員向け経営向上セミナー

三重県内の商工会に所属する中小企業診断士の資格を有する職員を講師として年2回OJTを開催し、診断士のノウハウを職員が共有することで、職員のスキルアップを図り、小規模事業者の支援に役立てます。

2-⑥ 中小企業基盤整備機構中小企業大学校セミナー

希望者に対し、積極的に中小企業基盤整備機構の運営する中小企業大学校へ参加し、様々な経営手法の習得を図り、資質向上をめざし、小規模事業者の支援に役立てます。

2-②

平成28年度は未実施です。

2-③

毎日職員ミーティングを実施し、業務の進捗管理と情報の共有を行いました。

職員による情報共有・意見交換についても経営支援会議により行っています。

2-④

必要時は、職員でチームを組んで小規模事業者への巡回や支援を実施しました。スーパーバイザー事業を活用して資質向上に取り組みました。

2-⑤

経営計画作成セミナーの中で職員も同席して実施しました。また、個々の事業者支援についてはOJTという形で実施しました。

2-⑥

基礎Iセミナー受講 1名

2-②

A	B	C	D
			○

2-③

A	B	C	D
	○		

2-④

A	B	C	D
○			

2-⑤

A	B	C	D
	○		

2-⑥

A	B	C	D
○			

<p>2-⑦ 職員の公的資格取得の推進</p> <p>小規模事業者を指導する際に有利になる公的資格の取得を推進します。三重県職員協議会の資格チャレンジ奨励助成を活用し、自己啓発的に資質向上をめざし、小規模事業者の支援に役立てます。</p>	<p>2-⑦ 平成28年度は未習得です。</p>	<p>2-⑦</p> <table border="1" data-bbox="1720 233 2085 384"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>	A	B	C	D				○
A	B	C	D							
			○							
<p>○現状と課題・問題点</p> <p>三重県商工会連合会が主催するセミナーを中心として、各種セミナー等は事務局長からの推奨・個々の求める内容に対して、その都度、職種ごとのセミナーに参加している現状です。または、大台町商工会・松阪商工会広域連合等で小規模事業者向けに開催しているセミナーに同席してノウハウの習得に取り組んできました。</p> <p>○改善方法</p> <p>事務局長が職員と面談を行い、職員が身に付けたいスキル・客観的に足りないスキルを把握して、資質向上年間プログラムを作成して提示して各自の資質向上に努めます。また、大台町商工会の資質向上年間スケジュールを年度当初に作成し、計画的に行っていきます。</p>										
<p>○事業内容に対する評価や指摘事項</p> <p>職員の資質向上については、事務局長が適正を把握して計画的に各種セミナー等の受講や資格取得について促していくことが必要です。また、セミナー等についても、テーマを決めて実施しないと内容がブレてしまうことから、明確に職員に伝える必要があります。</p> <p>大台町商工会の場合は、全体としての情報の共有化と職員間の意識差も課題であり、平成29年度の経営発達支援事業の中で取り組んでいってください。</p>										
<p>経営発達支援事業の内容及び実施期間</p>	<p>実施内容</p>	<p>評価内容</p>								
<p>3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること</p> <p>大台町商工会が実施する事業は、これまで事業計画を立案し、総代会により承認を得て、実施後に事業報告を行うという基本的な仕組みであり、事業見直しのための、事業成果・進捗状況等の評価が十分に設定されておらず、評価結果に基づく明確な改善策が、事業計画の見直しに反映されにくいことが課題です。</p> <p>今後は、本経営発達支援計画に記載した事業の実施状況及び成果について、実施する事業の目標達成度合の評価シートによる「数値的評価」の導入を行い、その実行成果で評価を図り、以下により、検証と計画の見直しを行い、経営発達支援計画の実施効果を高めていきます。</p> <p>(1) 事務局での進捗状況の確認及び事業内容の検証</p> <p>毎月、第2金曜日の職員ミーティングで経営発達支援進捗会議を実施し、事業の進捗状況を確認及び事業内容を検証します。</p>	<p>平成28年6月28日より(火)、経営発達支援事業評価委員会の体制を構築し、事業の評価・検証を行っています。</p>	<table border="1" data-bbox="1720 967 2085 1121"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	A	B	C	D	○			
A	B	C	D							
○										

<p>(2) 大台町商工会理事会での評価・検証 年2回、経営発達支援進捗会議の結果を、大台町商工会理事会で評価・検証し、指摘事項の軌道修正及び改善を行います。</p> <p>(3) 大台町経営発達支援計画評価委員会（仮称）での評価・見直し案の提示 年2回、大台町商工会理事、外部から大台町役場担当者、中小企業診断士等の有識者で構成された大台町経営発達支援計画評価委員会（仮称）において、事業の実施状況、成果の評価・見直し案の提示を行います。</p> <p>(4) 大台町商工会理事会での評価・見直し方針の決定 年2回、大台町商工会理事会において大台町経営発達支援計画評価委員会（仮称）での事業の実施状況、成果の評価・見直し案の提示を、評価・見直し方針を決定する。</p> <p>(5) 会員・町への報告・承認 事業の成果・評価・見直しの結果については事業年度終了後、大台町商工会通常総代会、大台町へ報告し、承認を受けます。5月実施予定。</p> <p>(6) 経営発達支援計画の事業評価及び見直しの公表 事業の成果・評価・見直しの結果を大台町商工会公式ホームページ・大台町商工会公式Facebookページ・SHIFTで計画期間中公表します。また、大台町商工会が毎月発行する福まねき通信（大台町商工会広報誌）にも、実施結果等を掲載し、インターネット環境が無い小規模事業者でも確認できるように配慮します。</p>		
<p>○現状と課題・問題点 平成28年度は、1年を通して経営発達支援事業に取り組みました。6月と2月に評価委員会を開催し、事業内容の評価と検証を行い数値的な情報を踏まえ、第三者評価委員を迎えて、今後の方向性について検討を行いました。</p> <p>○改善方法 当初の計画通り、数値的な部分についてはほとんどの事業が一定の値を示すことが出来ました。しかし、実際に小規模事業者の経営的な部分にどこまで効果的な取り組みであったかは検証できていないことから、更に内容を深掘りし、効果の見える仕組みづくりを行っていく必要があります。</p>		
<p>○事業内容に対する評価や指摘事項 事業全体を通して言えることですが、数値的には一定の効果があり、実績としてあがっているが、事業効果の検証という部分では明確になっていないことから、費用対効果を踏まえたうえでの徹底した検証を実施が必要です。数字の実績だけで満足せず、このような事業も商売と一緒に何をしても効果がなければ意味がないということを念頭に組み込んでいって下さい。</p>		

